

平成31年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

道 徳



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	2	東書	新しい道徳

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材一冊から成る。教材30、付録5があり、発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○冒頭に「道徳の授業はこんな時間に」と「話し合いの手引き」があり、道徳科で考えを広げたり、深めたりするなど生徒にオリエンテーションできる見開きページがある。 ○教材は、魅力的な読み物資料で、考える観点を示している。 ○教材は、「読み物資料」と「考えてみよう！」で構成しており、「考えてみよう！」では発問が2～3個あり、ねらいに迫る構成となっている。 ○教材ごとに、「つぶやき」があり、生徒が書き込めるようになっている。また、巻末に「自分の学びをふり返ろう」があり、学期ごとに書き込む用紙がある。(3枚) ○巻末に「みんなで意見を書こう」という趣旨で、ホワイトボード用のペンを使用して書き込める用紙が挿入されている。 ○「心情円」があり、自他の考えが視覚化でき、教材の内容を深めることができる。
	3 分量	○教材は「導入教材(詩)」「本教材」「付録」で構成され、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ○学習指導要領4つの視点を色とマークで判別できるように工夫している。 ○「つぶやき」や「自分の学びをふり返ろう」の記述を評価として活用することができる。
	5 印刷・製本等	○サイズはワイドなA B版であり、印刷は鮮明である。 ○UDフォントを使用しており、読みやすく見やすい書体である。
教科ごとの選定の観点	○多様な読み物教材、冒頭の「道徳の授業はこんな時間に」、「自分の学びを振り返ろう」の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 補充・深化・統合を図ることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協同的に議論したりできる。 5 道徳上の問題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通して学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	11	学図	輝け 未来 中学校道徳

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材一冊から成る。教材は35あり、発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○冒頭に発達段階に応じた話し合い活動ができるページがあり、考えを広げたり、深めたりして生徒にオリエンテーションができる。 ○教材は、魅力的な読み物資料を含めて内容項目ごとにまとめている。 ○教材は、「読み物資料」と「学びに向かうために」で構成しており、教材ごとに「考えよう」「考えよう・意見交換」「見つめよう」でねらいに迫る構成となっている。 ○教材ごとに、「学びの記録」があり、生徒が書き込めるようになっている。また、「心の扉」があり、指導項目を振り返って書き込める欄がある。 ○巻末に「一年間の振り返り」があり、次年度への目標が書き込める。 ○巻末に「保護者の方へ」とあり、この教科書で目指すことがまとめられる。 ○もくじでは、教材のマークがアイコン化されており、内容項目が分かりやすくなっている。
	3 分量	○教材は「本教材」「心の扉」で構成され、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ○写真や挿絵をはじめ、新聞記事やグラフ、漫画が用いられており、イメージを持って学習できるように工夫されている。 ○「学びの記録」や「心の扉」の記述を評価として活用することができる。
	5 印刷・製本等	○サイズはワイドなA B版であり、印刷は鮮明である。 ○当該学年以上の配当漢字には、振り仮名がふってある。
教科ごとの選定の観点	○多様な読み物教材、冒頭の「学級づくり」、「心の扉」の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 補充・深化・統合を図ることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協同的に議論したりできる。 5 道徳上の問題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通して学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	17	教出	中学道徳 とびだそう未来へ

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材一冊から成る。教材は30、補充教材5の構成となっている。発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○冒頭に「○年生の道徳が始まる」とある。1年生ではさらに「道徳って、どんなふうに学習したらいいの？」があり、道徳科で考えを広げたり、深めたりするなど生徒にオリエンテーションできるページがある。 ○教材は、魅力的な読み物資料を含めて内容項目ごとに色分けしている。 ○教材は、「読み物資料」と「学びの道しるべ」で構成しており、教材ごとに3つの発問でねらいに迫る構成となっている。 ○導入時の発問が明記されている。 ○巻末に「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」があり、中学生に贈る言葉としての工夫がある。 ○各学年の末尾で、「どんな○年生になりたいか」があり、家の人や先生からコメントをもらい今後活かせる欄が設けられている。
	3 分量	○教材は「本教材」「補充教材」で構成され、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ○写真や資料が豊富に提示されており、グラフや地図は、細かい部分まで見分けが付きやすい配色で作成されている。 ○巻末の学びの記録を学期ごとに書かせることで、生徒の評価に活用できる。
	5 印刷・製本等	○サイズはB5版であり、印刷は鮮明である。 ○小学生とのギャップを解消するために、1年生の前半部教材（1～10まで）は、本文の文字を大きくして読みやすくしている。
教科ごとの選定の観点	○多様な読み物教材、「学びの道しるべ」の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 補充・深化・統合を図ることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協同的に議論したりできる。 5 道徳上の問題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通して学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。	

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	3 8	光村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材一冊から成る。教材は3 4、補充教材2の構成になっている。発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○全学年巻末で「どうして道徳を学ぶのか」ということが説明されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は、魅力的な読み物資料を含めて内容項目ごとにまとめている。 ○教材は、「読み物資料」と「てびき」で構成しており、「てびき」は①学びのテーマ、②考える観点、③見方を変えて、④つなげよう、⑤わたしの気づきの5つの要素からねらいに迫る構成となっている。 ○教材ごとに「私の気づき」があり、教科書に書き込む欄が設けられている。また、1年間のまとめを書くページが巻末についている。ワークシートは、学習指導書付属デジタル教材として使用することができる。 ○巻末に「日本の郷土玩具」、「日本各地の世界遺産」、「日本の先駆者たち」があり、各学年ごとに都道府県の特徴が紹介されている。
	3 分量	○教材は「巻頭詩」「本教材」で構成され、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ○文字の大きさは、発達段階、教材の内容によって配慮しており、本文には光村明朝体を用いている。 ○「私の気づき」や「1年間のまとめ」を活用して、生徒の評価ができる。
	5 印刷・製本等	○サイズはB 5版であり、印刷は鮮明である。 ○特別支援教育に配慮しており、場面が分かりやすい挿画を施している。
教科ごとの選定の観点	○多様な読み物教材、冒頭の「どうして道徳を学ぶのか」、「てびき」の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 補充・深化・統合を図ることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協同的に議論したりできる。 5 道徳上の問題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通して学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。	

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	1 1 6	日 文	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材一冊、道徳ノート一冊から成る。教材は35あり、発達段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○教科書冒頭で動機付け、「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」が掲載されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は、魅力的な読み物資料を含めて内容項目ごとにまとめている。 ○教材は、「読み物資料」と「考えてみよう・自分に+1」で構成しており、ねらいに迫る構成となっている。 ○別冊で「道徳ノート」があり、「考えてみよう・自分に+1」と連動して記入することができる。また、1教材ごとに「自分への振り返り」がある。 ○学習した内容を広げるコラム「プラットフォーム」、学習した内容を理解する助けになるコラム「参考」があり、視野を広げる工夫がある。 ○各学年2教材で、動作や演技をする学習活動が設定されている。
	3 分量	○教材は「本教材」「プラットフォーム」「参考」で構成され、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ○読み取りやすさに配慮したUDフォントを使用している。 ○道徳ノートの記述を活用して、生徒の評価ができる。
	5 印刷・製本等	○サイズはB5版であり、印刷は鮮明である。 ○特別支援教育への配慮から、写真や図、イラストや漫画が挿入されており分かりやすい。
教科ごとの選定の観点	○多様な読み物教材、教材一冊、道徳ノート一冊の設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 補充・深化・統合を図ることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協同的に議論したりできる。 5 道徳上の問題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通して学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。	

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
道徳	2 2 4	学研	中学生の道徳 明日への扉

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材一冊から成る。教材は35あり、発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○教科書冒頭で動機付け、「道徳で学ぶこと・考えること」が掲載されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は、「読み物資料」と3種類の特設ページ「深めよう」「クローズアップ」「クローズアッププラス」で構成しており、ねらいに迫る構成となっている。 ○生徒に身近な人物や実話を扱っているため、生徒の興味や関心を喚起しやすくなっている。 ○一つのテーマに関連する複数の教材を連続して学びを深めるユニット教材が設定されている。 ○教材によっては、書き込める欄が設けられている。 ○生徒が考えを深め、自己を見つめるために、あえて教材ごとに学習指導要領の内容(主題名)が記載されていない。
	3 分量	○教材は「本教材」と3種類の特設ページ「深めよう」「クローズアップ」「クローズアッププラス」で構成しており、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ○図表や挿絵に工夫があり、生徒の興味を引く工夫がある。 ○「深めよう」「クローズアップ」等の記述を活用して、生徒の評価ができる。
	5 印刷・製本等	○サイズはA4版であり、印刷は鮮明である。 ○生徒の理解を助け、親しみをもてる挿絵を掲載している。
教科ごとの選定の観点	○多様な読み物教材、冒頭の「道徳で学ぶこと・考えること」などの設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 補充・深化・統合を図ることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協同的に議論したりできる。 5 道徳上の問題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通して学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	232	廣あかつき	中学生の道徳 自分を見つめる 中学生の道徳ノート 自分を見つめる

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材一冊、道徳ノート一冊から成る。教材は35あり、発達段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○教科書冒頭で動機付け、「道徳の時間とは」が掲載されており、発達段階に応じてオリエンテーションができる内容となっている。 ○教材ごとに、考える・話し合う欄があり、「学習のてがかり」、めあて、発問が提示されている。 ○「本冊」の問いを「別冊ノート」に記入することができ、評価の根拠に活用することができる。 ○「問題解決的な学習」を促す教材や「体験的な学習」を促す教材が掲載されている。 ○本冊と「別冊ノート」の2冊を併用することができ、答えが1つではない道徳的課題に向き合うように工夫されている。
	3 分量	○教材は、「本冊」と「別冊ノート」で構成しており、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ○「本冊」と「別冊ノート」の補充・深化した教材により、柔軟に活用することができる。 ○「別冊ノート」の記述を活用して、生徒の評価ができる。
	5 印刷・製本等	○サイズはA Bワイド版であり、印刷は鮮明である。 ○グラフやアンケート結果・挿絵や写真が、学習の理解や深まりに役立つように配置されている。
教科ごとの選定の観点	○多様な読み物教材、「本冊」と「別冊ノート」の設定などにより、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 補充・深化・統合を図ることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協同的に議論したりできる。 5 道徳上の問題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通して学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	233	日科	道徳 中学校 生き方から学ぶ

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○教科書教材一冊から成る。教材は37あり、発達の段階に応じた学習内容、目標達成に結びつく内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○教科書冒頭で「道徳科って何を学ぶの?」「教科書の使い方」が掲載されており、オリエンテーションができる内容となっている。 ○教材は、魅力的な読み物資料を含めて内容項目ごとにまとめている。 ○教材は、「本教材」と「考え、話し合ってみよう。そして深めよう」で構成しており、ねらいに迫る構成となっている。 ○教材によって書き込める欄が設けられている。 ○巻末に「1年間の心の成長を振り返りましょう」「私の道徳記録」があり、評価等に活用することができる。
	3 分量	○教材は、「巻頭詩」「本教材」と「考え、話し合ってみよう。そして深めよう」で構成しており、指導内容の重点化が図られている。
	4 使用上の便宜	○カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ○未習の漢字については、全てにふりがなをつけている。 ○巻末の「1年間の心の成長を振り返りましょう」「私の道徳記録」を活用して、生徒の評価ができる。
	5 印刷・製本等	○サイズはB5版であり、印刷は鮮明である。 ○絵や写真、挿絵に工夫があり、道徳的価値について考える材料となっている。
教科ごとの選定の観点	○多様な読み物教材、冒頭の「道徳で学ぶこと・考えること」などの設定により、 1 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。 2 補充・深化・統合を図ることができる。 3 自分の生活や考えを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる。 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、発表し合ったり討論などにより協同的に議論したりできる。 5 道徳上の問題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる。 6 体験的行為や活動を通して学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができる。 7 身近な社会的課題を多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容である。 8 人間尊重の精神にかなうものであり、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容である。	